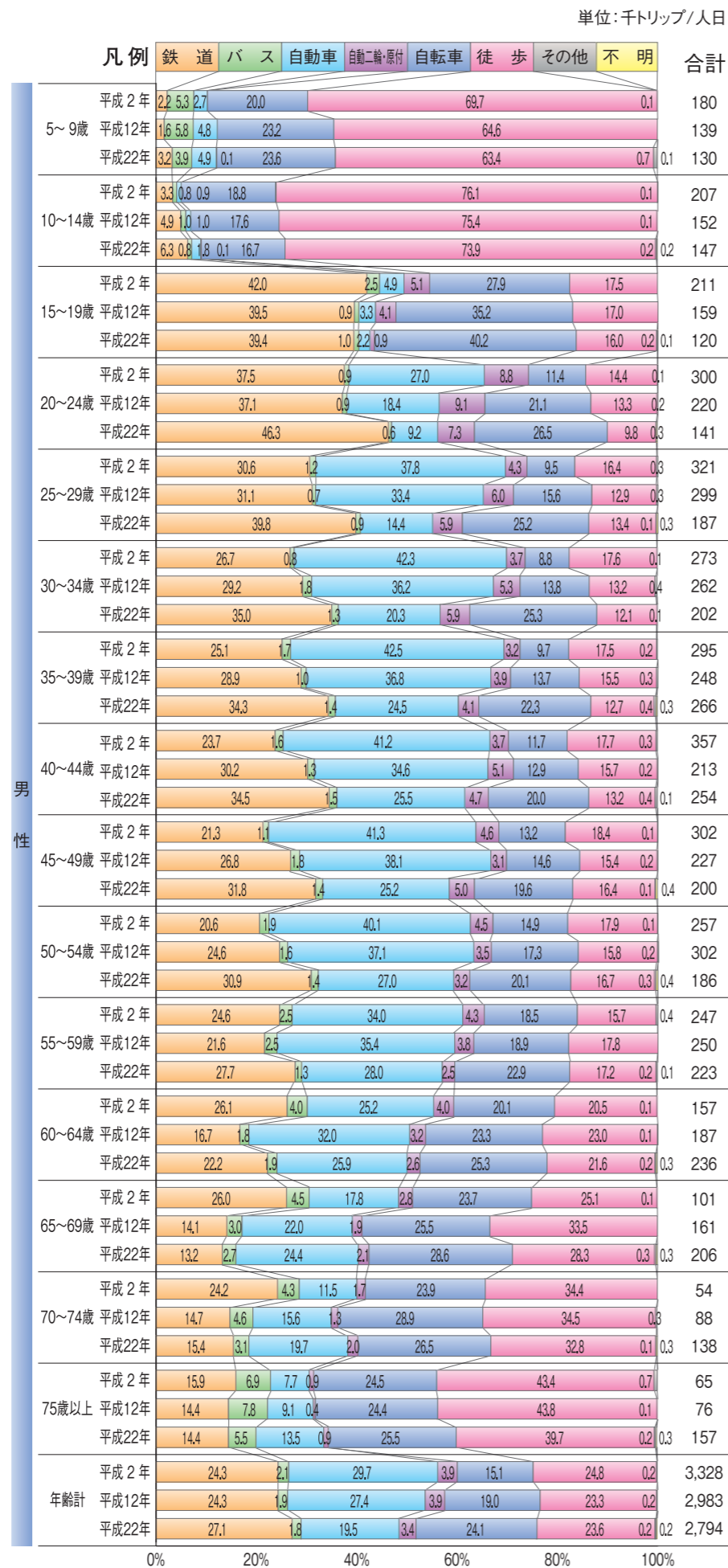


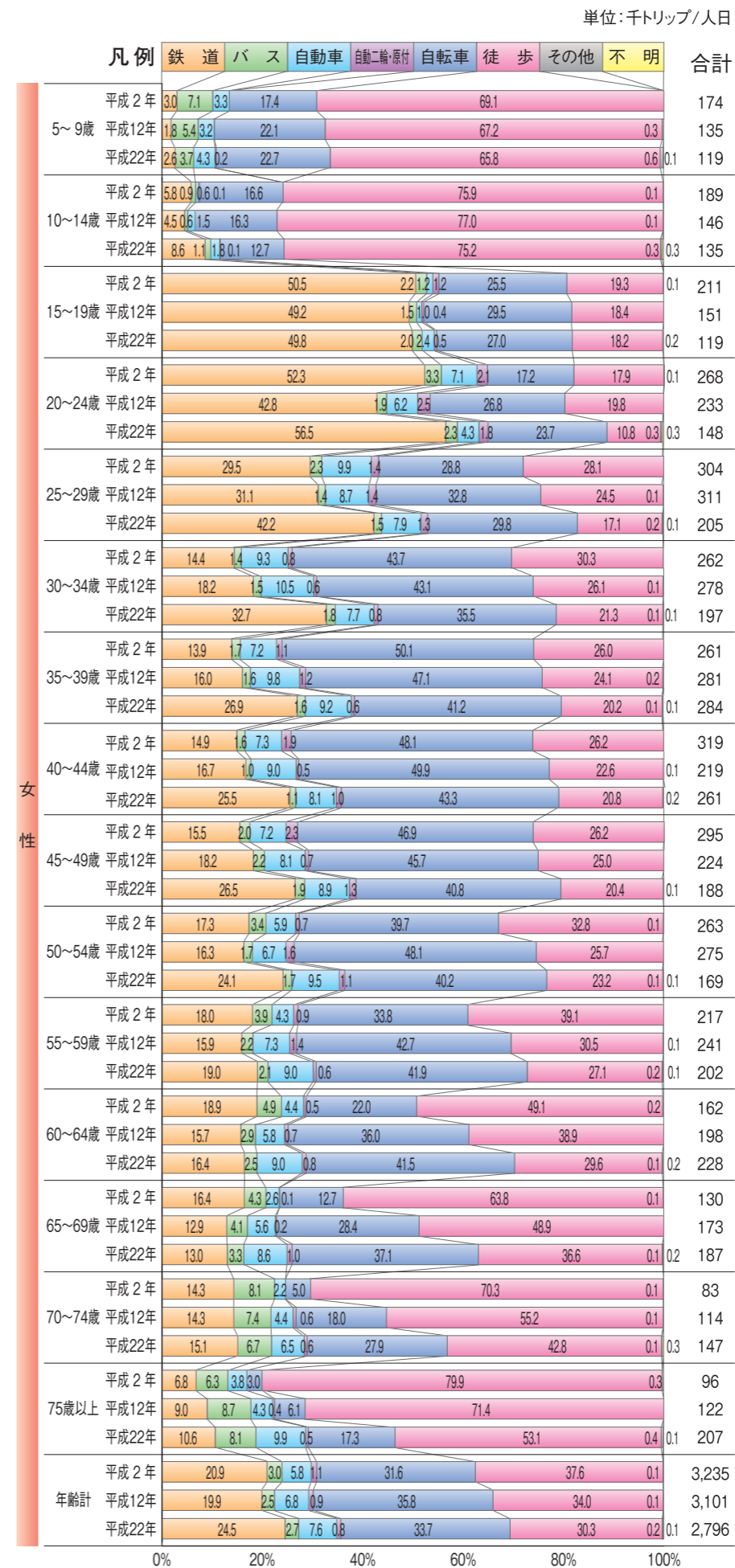
4. 年齢階層別の代表交通手段構成の推移

- 男性の平日トリップにおける代表交通手段構成の推移をみると、若年層では徒歩、自転車の順に割合が高くなっています。
- 20～50歳代においては、平成12年から平成22年にかけて、鉄道の割合が増加して自動車の割合が減少しています。
- 全体的に自動車の利用割合が減少傾向にある中で、65歳以上においては、ほぼ横ばい～微増の傾向にあります。



資料：第5回近畿圏パーソントリップ調査（第3回調査圏域内の集計）

図56 性別・年齢階層別に見た平日の代表交通手段構成の推移（平成2年～平成22年）



資料：第5回近畿圏パーソントリップ調査（第3回調査圏域内の集計）

図57 性別・年齢階層別に見た平日の代表交通手段構成の推移（平成2年～平成22年）

- 女性の平日トリップにおける代表交通手段構成の推移をみると、若年層では男性と同様に徒歩、自転車の順に割合が高くなっています。
- 20歳以上においては、男性と比較して全体的に自転車の割合が高く自動車の割合が低くなっています。
- 50歳以上においては、平成2年から平成22年にかけて、自動車の割合が増加しています。